



交通死亡事故当事者の自治体別調査(令和2年中)

～愛知県内でドライバー（原付以上）が発生原因となった死亡事故116件をドライバーの居住地（自治体）別に表したものです。～

※ 内11件のドライバーは県外居住者 凡例

7人以上	
4～6人	
1～3人	
0人	

2年連続の全国ワースト2位

愛知県内の令和2年中の交通事故死者数は154人、前年に比べ2人減少し、2年連続の全国ワースト2位となりました。

残念ながら当県は交通死亡事故が多く発生しています。今年こそ悲惨な交通事故を無くすため、昨年以上に安全運転、安全行動をお願いします。

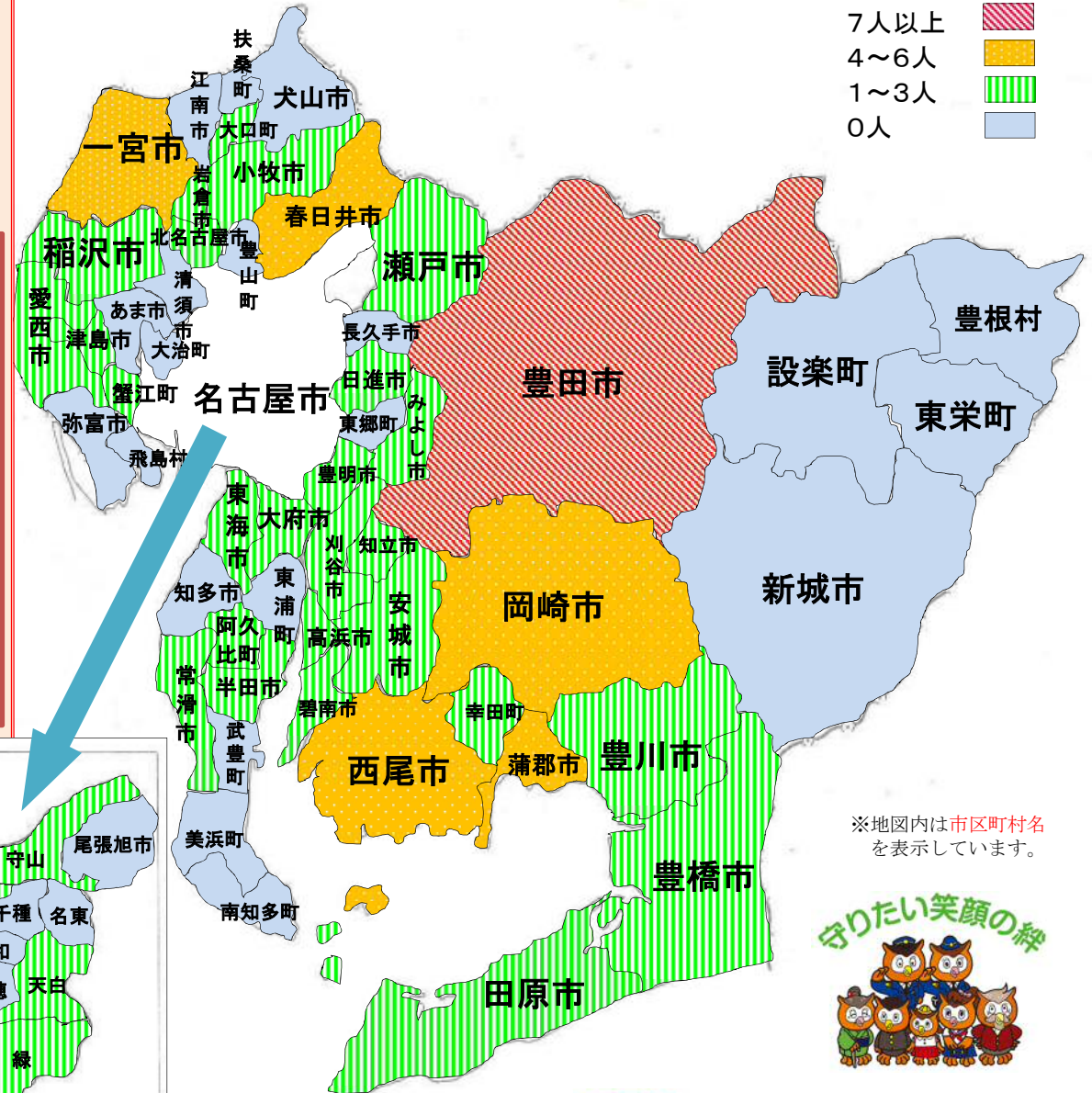
令和2年中の交通死亡事故等の特徴

歩行者の死亡事故が多発

令和2年中、歩行者の事故死者数は60人で、前年に比べ、14人増加しました。ドライバーは、歩行者優先を心がけ、横断歩道に近づいたら、速度を落とし、歩行者等が来ていないか十分確認しましょう。また、昨年の交通死亡事故は、交差点、もしくはその付近での発生が約7割を占めています。交差点は人と車が交わる場所です。ドライバーは一時停止や信号に従うのはもちろん、右左折時には対向車に注意するだけでなく、右左折先の歩行者や自転車にも注意しましょう。歩行者も、信号を守る、横断歩道を利用するなど、基本的なルールをきちんと守り、安全行動をとるようにお願いします。

高齢者が犠牲となる死亡事故が多発

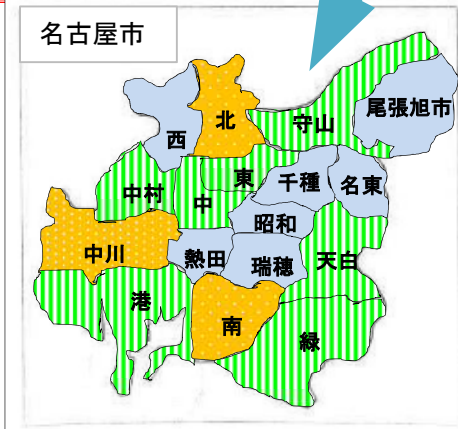
令和2年中の交通死亡事故を見ると高齢者が犠牲となる事故が半数以上を占めています。特に高齢歩行者は加齢による身体機能の低下から、一般的に道路の横断に時間がかかり、安全確認が苦手な方が多くなる傾向にあります。ドライバーは高齢者を見かけたら速度を落とすなど、思いやりを持った運転をお願いします。高齢者の方も道路を渡るときは、横断歩道のない広い道路の無理な横断や斜め横断はやめ、外出の際は、明るい色の服装や反射材の着用を心がけましょう。



令和3年使用交通安全年間スローガン

＜受賞作品＞

- ☆一般部門 運転者へ呼びかけるもの
ゆとりある 心と車間の ディスタンス
- ☆一般部門 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
ママなんで？ 赤は止まると 習ったよ
- ☆こども部門 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの
自転車に 乗るならきみも 運転手



※地図内は市区町村名を表示しています。



～交通事故の被害者だけでなく加害者も出さないよう、地域ぐるみで取り組んでいきましょう。～